

口から見える子どもの貧困

日時 6月10日(日) 14:00~16:30 (開場 13:30)

会場 兵庫県保険医協会会議室

(神戸フコク生命海岸通ビル5階・地図裏面)

参加費無料 どなたでもご参加歓迎です

【プログラム(予定)】

■講演 **子どもの貧困を「何とかする」には**

講師 社会活動家/法政大学教授 **湯浅 誠 氏**

■パネル報告

①学校歯科治療調査結果からみた子どもの貧困

加藤 擁一 氏(兵庫県保険医協会副理事長)

②全日本民医連「歯科酷書」から

富澤 洪基 氏(尼崎医療生活協同組合生協歯科所長)

③自治体としての子どもの貧困・健康格差改善の取り組み

梅村 智 氏(兵庫県口腔保健支援センター所長)

④メディアからみた子どもの貧困問題

三上喜美男 氏(神戸新聞論説委員長)

コーディネーター 川村 雅之 氏(兵庫県保険医協会副理事長)



終了後、歯の健康相談(無料)
お気軽にご相談ください。

【開催趣旨】

子どもの貧困問題は、子どもや親など個人の問題＝「自己責任」ではなく社会の問題として、「子どもの貧困対策法」が2013年に制定され、政府も重要な政策課題としています。しかし、「貧困と健康格差」の関係、とりわけ「口腔崩壊」にまでいたる「子どもの歯と口腔の健康格差」の実態は十分に可視化されていません。

兵庫県保険医協会編『口から見える貧困 健康格差の解消を目指して』(クリエイツかもがわ、2017年)で明らかにされているように、兵庫県内で学校歯科健診で治療が必要な生徒の未受診率は65%、口腔崩壊の子どもが35%の学校にいるという衝撃的な実態があり、他府県の調査でも概ね同じ割合の未受診と口腔崩壊の傾向にあり、健康格差は口腔内でも見られ貧困問題との関係が推測されています。

今回のシンポジウムでは、貧困問題から子どもの口腔の健康を考えるために、元内閣府参与で貧困問題にながらく取り組まれている湯浅誠さんに講演いただき、行政とマスメディアの関係者からも報告いただき、子どもの貧困問題の改善と繋げて、憲法25条に基づき社会保障としての歯科医療を充実させることの大切さを皆さんと考えます。

主催 「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会

共催 兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会

協賛 兵庫県歯科医師会/兵庫県歯科技工士会/兵庫県歯科衛生士会

後援 兵庫県/神戸市/神戸新聞社/朝日新聞神戸総局/読売新聞神戸総局/毎日新聞神戸支局/産経新聞社/
サンテレビジョン/NHK神戸放送局/ラジオ関西

湯浅誠（ゆあさ・まこと）さんご略歴

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。1995年よりホームレス支援、生活困窮者支援に携わる。2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。

現在、法政大学現代福祉学部教授の他、NHK 第一ラジオ「マイあさラジオ」、文化放送「大竹まことゴールデンラジオ」レギュラーコメンテーター、朝日新聞パブリックエディター、日本弁護士連合会市民会議委員。

講演内容は貧困問題にとどまらず、地域活性化や男女共同参画、人権問題などに渡る。

著書に『「なんとかする」子どもの貧困』（角川新書、2017年9月刊）、『ヒーローを待っていても世界は変わらない』（朝日文庫）、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞した『反貧困』（岩波新書）、『貧困についてとことん考えてみた』（茂木健一郎と共著、NHK出版）など多数。

「保険でより良い歯科医療」兵庫県連絡会のご紹介（設立趣旨より）

おいしく、楽しく食べることは人生を豊かにするとともに健康の基本です。しっかりと噛むことで全身の健康状態を高めます。とくに今日の歯科医療は、糖尿病の管理をはじめ、致命的な疾患にいたる高血圧症や動脈硬化、歯性感染症、誤嚥性肺炎、認知症の予防など、全身の健康にとって不可欠な口腔機能を維持させる上で、ますます重要となっています。お口の健康を保障するためには保険で安心して歯科医療を受けられることが望まれます。

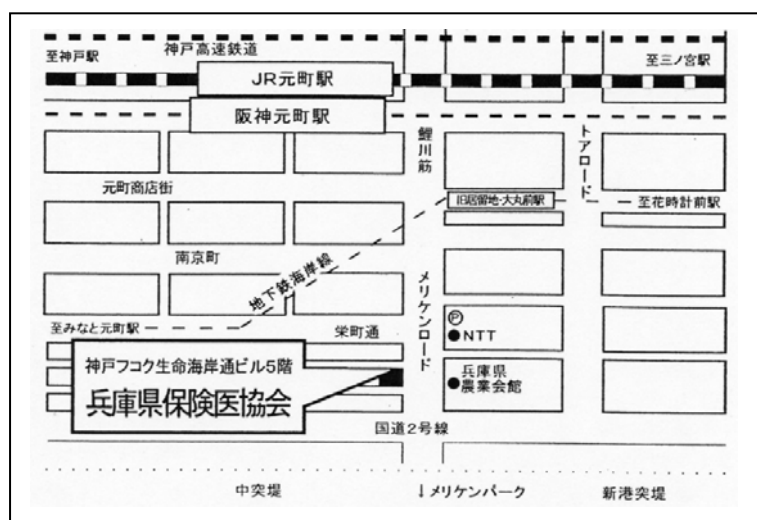
また、成人の8割は歯周病といわれ、通院困難な高齢者・障害者への歯科訪問診療など、国民の歯科医療のニーズも高まってきています。

こうしたニーズに応えるよう歯科医療従事者は、「いつでも、どこでも、お金の心配なしに安心して医療を受けられる」ことを理念とした「国民皆保険制度」のもとで、憲法25条に基づく社会保障としての歯科医療に携わっています。

しかしながら、患者さんにとって必要な技術が保険で扱えない、従事者の労働力に見合うように保険点数が引きあがらない、患者さんも窓口負担が高く受診を躊躇するなど、長く続く政府の「低医療費政策」により歯科医療は疲弊しています。高齢化が急速に進み、医療技術の進歩も著しいにもかかわらず、この数十年間、保険点数は据え置かれ、新しい技術が保険で認められていないのです。

政府が歯科医療費を増やさないため、歯科医療は危機に瀕しています。歯科技工士、歯科衛生士を養成する学校は定員割れ・廃校が続いています。歯科大学・歯学部も09年度には志願者減・定員割れになるなど、お口の健康を守る歯科従事者の担い手がなくなるという深刻な事態になりかねません。

わたしたちは歯科医療の危機を乗り越え、国民の口腔の健康を守るために、歯科医療関係者と患者・住民との協力のネットワークとして、「保険でより良い歯科医療を求める兵庫県連絡会」を立ち上げ、歯科医療の充実とその大切さを国民各層に呼びかけていきます。



【会場 お問い合わせ先】

兵庫県保険医協会

〒650-0024

神戸市中央区海岸通1丁目2-31

神戸フコク生命海岸通ビル5階

TEL. 078-393-1809

FAX. 078-393-1802

shin-ok@doc-net.or.jp

元町駅から南 徒歩10分

兵庫県農業会館向かい

参加申込 FAX078-393-1802 または shin-ok@doc-net.or.jp まで

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民シンポジウム (6/10) に参加します

() 人 所属・医療機関名 _____ お名前 _____